

1. 科目名 (単位数)	教育方法論 (中等) (2 単位)		3. 科目番号	EDTS2304 EDTS2104						
2. 授業担当教員	北林 敬									
4. 授業形態	講義、演習 (視聴覚教材の鑑賞、問題解決のためのグループワーク・ロールプレイングなどを含む)		5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係										
7. 講義概要	「学習指導要領」の改訂により、各教科、総合的な学習の時間等の授業改善が求められている今日、教師は「よりよい授業づくり」のために、さまざまな教育方法を学ぶことが求められています。この授業では、基本的な指導方法・学習方法について説明するとともに、その方法の効果・問題点を整理し、教育実習時の授業場面に役立つ教育の(方法)を身につけることを目的とします。具体的には、授業場面の事例をもとに、(方法)への理解を深めると同時に、その工夫・改善のあり方について検討します。その上で、グループワークによる「模擬授業」を実施し、「授業づくり」の過程におけるPDCAサイクル (Plan [企画] -Do [実行] -Check [評価] -Action [改善]) を体験的に学びます。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校・高等学校教諭等を目指す学生に求められる基本的な教授学習理論を理解し、重要な用語について説明することができる。 2. 基本的な指導方法・学習方法を理解した上で、「模擬授業」において実際にその方法論にもとづいた指導案を作成し、授業を展開することができる。 3. 自ら実施した(あるいは他の受講生が実施した)「模擬授業」の問題点を検討し、次の授業に生かすことができる。 									
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	予習課題や探求的な課題を積極的に取り組み、主体的、対話型の学習によって理解を確かにすると共に問題解決力を培うように努めること。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークシート (各回の講義内容に沿った課題を提示する。) 2. 課題レポート「教育方法論を学ぶ意義について述べよ。」 (1000字) 3. 期末試験 									
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 田中耕治・鶴田清司・橋下美保・藤村宣之『新しい時代の教育方法 改訂版』有斐閣アルマ、2019年。 【参考書】 松平信久・横須賀薫『新訂教育の方法・技術』教育出版、2014年。 その他必要に応じてプリントを配布する。									
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 基本的な教授学習理論を理解し、専門教科の授業づくりに生かし、模擬授業を実践し、授業改善に結びつけることができる。 ○評定の方法 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 日常の授業態度 (参加態度、発表・発言、学習状況等)</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> </table>				1 日常の授業態度 (参加態度、発表・発言、学習状況等)	40%	2 課題レポート	30%	3 期末試験	30%
1 日常の授業態度 (参加態度、発表・発言、学習状況等)	40%									
2 課題レポート	30%									
3 期末試験	30%									
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は私語を慎み、携帯電話の電源を切って参加すること。 2. グループワークやグループ討議には積極的に参加すること。 3. 授業中に分からなかったことや疑問点は後に残さずに授業後に質問すること。 4. レポートや課題 (ワークシート等) の提出期限を守ること。 5. 正当な理由のない遅刻、早退、欠席はしないこと。 									
13. オフィスアワー	初回講義で連絡する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション -授業の進め方・教育方法論を学ぶ意義-	事前学習	教科書「序章」(pp. 1~8) を読んでおく。							
		事後学習	教育方法を学ぶ意義について考える。本時の授業のポイントをノートに整理する。							
第2回	西洋における教育思想と教育方法 (第1章前半-近代の教育思想と教育方法-)	事前学習	教科書「第1章」1・2 (pp. 11~29) を読み、分からない部分をチェックしておく。							
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。							
第3回	西洋における教育思想と教育方法 (第1章後半-現代の教育思想と教育方法-)	事前学習	教科書「第1章」3 (pp. 29~41) を読み、分からない部分をチェックしておく。							
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。							
第4回	子どもは何を学ぶか (第4章)	事前学習	教科書「第4章」(pp. 103~120) を読み、分からない部分をチェックしておく。							
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。							

第5回	学習とは何か（第5章）	事前学習	教科書「第5章」（pp.121～141）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第6回	学力をどう高めるのか（第6章）	事前学習	教科書「第6章」（pp.143～168）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第7回	授業をどうデザインするか（第7章）	事前学習	教科書「第7章」（pp.169～200）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第8回	教育の道具・素材・環境を考える（第8章）	事前学習	教科書「第8章」（pp.201～222）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第9回	何をどう評価するのか（第9章）	事前学習	教科書「第9章」（pp.223～244）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第10回	情報機器の活用	事前学習	配布資料「授業と教授メディア・コンピュータの利用」を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	情報機器を活用した授業のアイデアについて考える。模擬授業に情報機器を生かす方策を考える。
第11回	学習指導案の作成 *グループ毎に学習指導案（略案）を作成	事前学習	配付資料「学習指導案の実際」を熟読すること。
		事後学習	学習指導案の様式について理解し、学習指導案（略案）をグループで作成する。
第12回	グループワークによる模擬授業（英語科）	事前学習	グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。準備には、情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案（略案）の改善をする。 *各自の学習指導案Ver.1をグループワークによる模擬授業を経て改善を加え学習指導案Ver.2として指示された期限までに指導案（精案）を提出する。その際、改善点についての考察を課題レポートとして添付する。
第13回	グループワークによる模擬授業（公民科・福祉科）	事前学習	グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。準備には、情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案（略案）の改善をする。 *各自の学習指導案Ver.1をグループワークによる模擬授業を経て改善を加え学習指導案Ver.2として指示された期限までに指導案（精案）を提出する。その際、改善点についての考察を課題レポートとして添付する。
第14回	グループワークによる模擬授業（情報科・保健科）	事前学習	グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。準備には、情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案（略案）の改善をする。 *各自の学習指導案Ver.1をグループワークによる模擬授業を経て改善を加え学習指導案Ver.2として指示された期限までに指導案（精案）を提出する。その際、改善点についての考察を課題レポートとして添付する。

第15回	どのような教師をめざすべきか (11章)	事前学習	教科書「第11章」(pp.263-285)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	全15回の授業内容について整理し、筆記試験の準備を行う。
期末試験			